

# 島根半島・宍道湖中海ジオパーク ～生物多様性からのアプローチ～

生物多様性研究分科会 北村 清

## 1. はじめに

生物多様性研究分科会では、今年度より新しいテーマとして『島根半島・宍道湖中海ジオパーク』について調査研究を行うこととしました。今年は、手始めに松江ビジターセンターのある島根町加賀周辺の現地視察を計画していましたが、7月からのコロナ感染第7波により現地視察を中止し、松江市役所ジオパーク推進室との意見交換を行い、来年度以降の活動方針を取りまとめました。

## 2. 島根半島・宍道湖中海ジオパーク

ジオパークは、地球の貴重な「地質・地形の宝物」と地域の「自然・歴史文化・生物多様性」を守り、そして学ぶことで、100年後、1,000年後の人々も、安心して暮らせる環境づくりに産学官民が一緒になって取り組む地域のことです。

私たちが暮らしている地域の「大地の物語（ジオ）」「動植物（エコ）」「生活・歴史・文化・産業（ヒト）」のつながりを知り・学ぶことで、自分たちが暮らす地域に誇りを感じ、気候変動や自然災害への意識と理解を高め、持続可能な地域社会を作ることが、ジオパークの目的です。

古代より松江・出雲地域に暮らす人々は、数千万年前にアジア大陸から切り離され、度重なる地殻変動によって出来た大地と向き合い、特徴的な歴史や文化を生み出してきました。自分たちが暮らす大地の特徴を知ることは、これからの未来、この大地とどう付き合うのかを考えるヒントになります。

島根半島・宍道湖中海ジオパークでは、『大地と人のつながり』を地域住民など多くの人に伝えることを通じて、自分たちが暮らす地域に誇りを持ち、この地域を守っていくという意識を高める取り組みを行っています。

これまでの経緯としては、2016年3月に市民と行政、民間団体、教育関係者などが一体となって島根半島・宍道湖中海ジオパークを本格的に始動するため、「島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会」が発足されました。



## 島根半島・宍道湖中海ジオパーク

島根半島・宍道湖中海ジオパーク HP より  
<https://kunibiki-geopark.jp/>

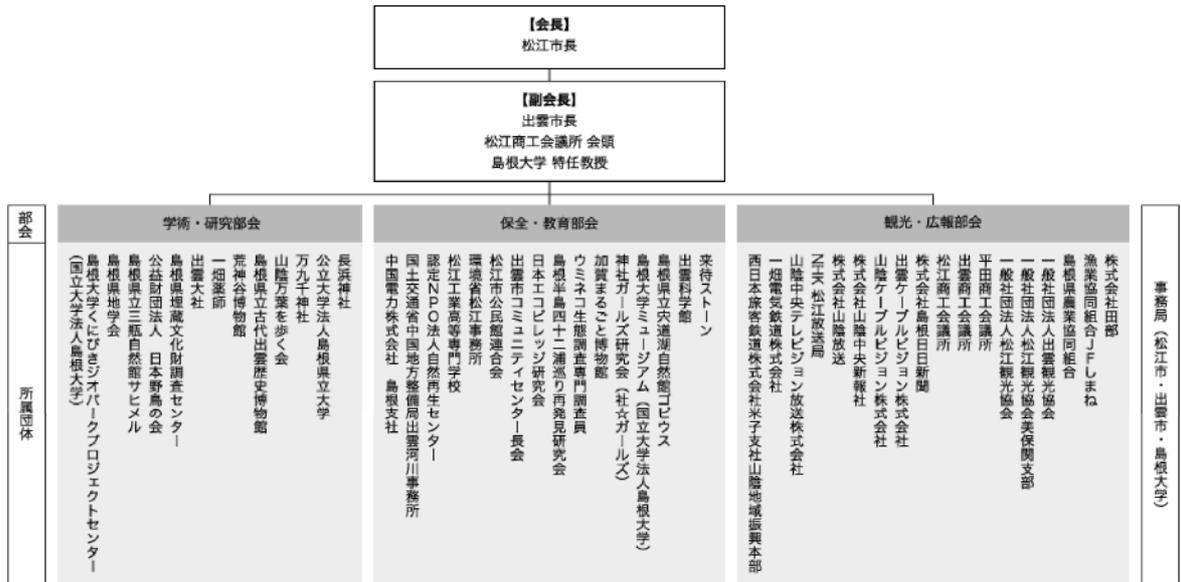


図-1 島根半島・穴道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会組織図

2017年12月に日本ジオパークに認定され、昨年には、4年毎の更新認定の審査が行われました。その中での課題のひとつとして動植物(エコ)の記述が少ないとの指摘があり、次回の更新認定(2025年)までに整理する必要があると伺いました。

生物多様性研究分科会では、今後、研究成果を活用して頂けるような取り組みをしていきたいと考えています。

### 3. 松江市ジオパーク推進室との意見交換



日 時：2022年11月17日

参加者：福田英樹(松江市ジオパーク推進室ジオパーク推進係長)  
 大嶋辰也、福井晴子、北村清(島根県技術士会)

内 容：ジオパーク事務局としても、今後生態系について整理をしておきたい。具体的には、生態系サイトカード等を作成していきたい。島根半島には様々な特徴ある地形・地質が見られる場所が数多くあるが、それらと植物が関連づけられるような整理ができればと思う。古事記や出雲風土記等歴史ある書物と現在の動植物の関連調査はでき

ないか。

ジオガイド養成講座を実施し、現在までに 9 期生 55 名がジオガイドとして認定されている。それらへの座学、フィールドでの講習等のサポート支援をお願いできないか。

ジオパーク検討会や学術研究部会のオブザーバーとしての参加。

来年度以降、情報交換をしながら、協力していきたい。

以上

### 3. 今後の活動計画

島根半島・宍道湖中海ジオパークのホームページに掲載されているジオサイト（ジオパークの見どころ）を「ジオ」「エコ」「ヒト」の 3 つに分類しました。中には、複数に関連するサイトもありますが、どちらか一方で分類を行いました。その結果、動植物「エコ」に分類できるものは、わずか 1 ヶ所のみでした。（表-1）同じく、隠岐ユネスコ世界ジオパークのジオサイトを分類すると、「エコ」は 9 ヶ所あります。（表-2）

来年度は、島根半島での「エコ」に分類できそうなジオサイトを探し出し、調査見どころ等を整理したいと思います。

表-1 ジオサイトの分類（島根半島・宍道湖中海ジオパーク）

分 類	箇所数	名 称
大地の物語 （ジオ）	49 (73%)	鷺浦の縦穴海食洞、日吉の切通しと旧蛇行河道、花仙山のメノウ脈、鞍掛岩、岩根寺のデイサイト節理、立久恵峡、八雲風穴、鬼の腰掛岩、小田海岸の貝化石、大根島の湧水、大根島の溶岩トンネル、大根島のスコリア丘、松江層の潮汐堆積層、斐伊川、神戸川、浜山砂丘、海川河口の古砂丘、地蔵崎、美保関の海食崖、法田海岸の波食棚、宇井の古浦層、惣津海岸と明島、権現山洞窟、千酌海岸の波食棚、美保関隕石、美保関古浦ヶ鼻の鉱物、笠浦海岸のいろいろな火砕岩、瀬崎のヒョウタン池、瀬崎のドンド穴、瀬崎の崩落火道、築島の岩脈、多古の七つ穴、佐波海岸の海底火山、多古の石柱、加賀の潜戸、桂島、須々海海岸の洗濯岩、大ぞ島の車石、古浦海岸の貝化石、赤浦海岸、小伊津海岸の洗濯岩、唯浦の直立層、十六島鼻の海食崖、猪目洞窟、弥山のごえんゴウロ、大社湾岸、大社断層の巨大な擦痕、日御碕、礫島
動植物（エコ）	1 (1%)	入道礁 (鵜が休息する岩礁) 
生活・歴史・文化・産業（ヒト）	17 (25%)	茶臼山、玉造温泉、来待石の石切場、嵩山と和久羅山、嫁ヶ島、松江城とその石垣、津ノ森の弥生時代のシジミ、湯の川温泉、稲佐の浜、菌の長浜、沖の御前、美保関の男神・女神、青石畳通りと森山石、立石の巨石、大船山、久多見石、韓竈神社周辺の黒鉱鉱床
合 計	67 (100%)	

表-2 ジオサイトの分類（隠岐ユネスコ世界ジオパーク）

分類	箇所数	名称
大地の物語 （ジオ）	35 （63%）	銚子ダムの隠岐片麻岩、浄土ヶ浦の湖成層と火山岩類、小路の石切り場跡、皆市の縞状泥岩、歌木の化石、塩の浜の珪藻土、大山の石英閃長岩とホルンフェルス、焼火山（中央火口丘と焼火神社）、鬼舞展望台から見る島前カルデラ、木路ヶ崎灯台から見る島前カルデラ、明屋海岸のスコリア丘、島津島の生痕化石、赤壁の火砕丘、赤ハゲ山から見る島前カルデラ、都万の生痕化石、白島海岸の岩石、代の火道、奥津戸の流紋岩、岸浜峠の黒曜石と火道、トカゲ岩、久保呂海岸のゼノリス礫、黒島のゼノリス、元屋の六方石と三水崖、岬玄武岩の爆裂火口、卯敷海岸の卯敷玄武岩、国賀海岸の摩天崖、国賀海岸の通天橋、国賀海岸、保々見の天川の水、金光寺山の湧水、河井の湧水群、ローソク島・馬背岩、油井の池、鷲ヶ峰の屏風岩、油井の前の洲
動植物（エコ）	9 （16%）	白島展望台の植生、大津久カタクリの里、中谷のオキサンショウウオ、新武良トンネル近くのカブラ杉、奥津戸のオオイワカガミ、加茂湾の亜高山性植物、自然回帰の森の植物、乳房杉と風穴、久見海岸の植物
生活・歴史・文化・産業（ヒト）	12 （21%）	鬼舞の牧畑用石垣、船越の船引運河、都万の船小屋のある景観、西郷湾-風待ちの港、岬の溶岩台地と隠岐空港、玉若酢命神社、布施の大山神社、福浦トンネル、油井川土石流復旧工事跡、壇鏡の滝、赤ハゲ山の牧畑用石垣、宮尾遺跡
合計	56 （100%）	

#### 4. おわりに

島根県技術士会は、その会則にあるように会員相互の親睦を図ることも目的のひとつとなっています。コロナの影響もありますが、生物多様性研究分科会でも参加メンバーが限られているのが現状です。来年度は、楽しい企画を計画して多くの会員の参加をお待ちしております。



平成 27 年度生物多様性研究分科会  
隠岐視察 15 名参加 1泊2日

以上